



88歳
〔石川県〕活動歴60年
●クレール射撃

武田杉雄さん

「害獣駆除がきっかけで始めた射撃ですが、クレールに当たった瞬間のスッキリ感に取りつかれました。射撃のおかげで精神力も鍛えられました」



29歳で石川県クレール射撃協会へ入会。「第21回国民体育大会」ほか、石川公式大会トラップ種目を中心に国内大会に継続出場。現在も射撃場に週1回通い、積極的に練習。クレール射撃競技にあって、現役選手を60年以上にわたり継続している例はほかに存在しない。



88歳
〔愛媛県〕活動歴69年
●陸上競技

岡武男さん

「陸上競技は、いつでも、どこでも、一人でもできる。今も近所の広っぱを毎朝30～40分走ります。スポーツをやっているとよかったです。おかげで病気知らずです」



19歳で陸上競技を始め、今なお活動。59歳で「マスターズ陸上」に初参加後、入賞多数。特に、「2009国際ゴールドマスターズ京都」および「第30回記念国際・日本マスターズ陸上」では80歳以上100m・200mで優勝するとともに、大会・日本・アジア記録を樹立。



81歳
〔愛知県〕活動歴67年
●ソフトテニス

秋松成喜さん

「今は成績よりも競技に出られることが勲章。67年間支えてくれた仲間、そして家族に感謝です。これからも諸先輩に負けないよう頑張ります」



14歳からソフトテニスに長年取り組み、「東海シニア選手権」では複数入賞。「愛知県超社年」寿組(150歳以上)優勝、「愛知県社会人選手権」80歳の部準優勝、「名古屋グランドシニア」優勝。その他「第9・11回ねりんピック」や「西日本シニア選手権」、「全日本シニア選手権」に出場。



86歳
〔東京都〕活動歴69年
●テニス、ソフトテニス、陸上競技

齋藤恵美子さん

「年々体力は落ちていますが、加圧式トレーニングのおかげで疲れなくなり、昨年の全日本決勝では2時間30分に及ぶ戦いを制し、優勝できました」



17歳からソフトテニスを始め、卒業後は厚生省テニス部で続け「全日本選手権」などで活躍。テニスへ転向後は、「全日本ベテラン選手権」80歳以上女子ダブルス優勝。脚力強化のため始めた陸上競技でも、「第35回千葉マスターズ選手権」85歳以上60m・100mで日本記録樹立。



80歳
〔広島県〕活動歴65年
●サッカー

吉池宏さん

「1958年の西日本大学蹴球大会で新聞の全国版に載り、今でも私の宝物です。食事面での妻の配慮もあり、今でも週5日、練習しています」



15歳でサッカーを始め、高校、大学、教員団、社会人・シニア倶楽部などで活動。数々の全国大会に出場し、「西日本大学選手権」3位、教員時代は「第19回国民体育大会」3位入賞。60歳以後は「第11・12回ねりんピック」優勝ほか「ロイヤル(70歳以上)東西対抗戦」にも出場。



80歳
〔大阪府〕活動歴64年
●テニス

藤原堅三さん

「70歳で世界選手権3位になりましたが、また85歳のころには家内と10回目の世界選手権に挑戦したい。120勝目をめざして頑張ります」



15歳からテニスを始め、「全日本高校」ダブルス優勝など活躍。45歳以降ベテラン大会に出場し、「全日本ベテラン」シングルス優勝6回、「全日本ローン」シングルス優勝4回など優勝回数は国内1位の109回。2007年「世界ベテラン」70歳以上の部で銅メダル獲得。



【特別企画②】 圧巻のスポーツ人生
第12回日本スポーツグランプリ表彰

ことしで12回目を迎えた「日本スポーツグランプリ表彰」。長年にわたりスポーツを実践するとともに、広く国民に感動や勇気を与え、顕著な功績を挙げた中高年齢層に授与される本賞。ことしは8名が受賞し、9月30日、「愛顔つなぐえひめ国体(本大会)」初日に開かれた「第72回国民体育大会役員懇談会」に先立ち表彰式が行われた。

※表彰の対象は、「①当該スポーツを長年にわたり実践」、「②当該年齢層において世界記録などを樹立」、「③当該スポーツにおいて顕著な実績を挙げる」の3つがある(オリンピック競技大会、各競技別世界選手権大会などの出場経験者は原則除く)。年齢は9月30日現在。なお武田杉雄さんは、表彰式にご欠席されました。



91歳
〔石川県〕活動歴68年
●陸上競技

櫻井久一さん

「受賞の知らせを聞いたときは驚きましたが、今、喜びでいっぱいです。おかげで夢ができました。100歳で世界一、お約束します」



20代で陸上競技を始め活躍。家業(民宿経営)を継いだあとは真夜中に練習。60歳から十種競技に挑み、「第17回全日本マスターズ混成競技選手権」80歳以上の部で日本・アジア記録を樹立し、9年間保持。83歳時には「全日本スロレク・マスターズ」80歳以上400m・800mで優勝。



91歳
〔千葉県〕活動歴75年
●水泳・卓球

稲富敏美さん

「私は八女市(福岡)の出身で、子どものころから近くの川でハヤやアユと泳ぎ、水泳を覚えました。水泳のおかげで今も元気。今後も続けていきます」



幼少期から水泳に親しみ、警視庁勤務時代は、「警視庁職員水泳競技大会」50歳以上50m自由形優勝。退職後、「マスターズ水泳」に挑戦し、国内年間ランキング1位の記録数は70。日本記録23回、世界記録も3回樹立し、現在は90歳区分短水路50m自由形で世界記録を保持。

写真/受賞者提供、大崎弘雅